

講義名	経営管理論A		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	権井 将夫		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 1時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
備考			

主題と概要

われわれの社会は、戦後、農業を中心とした社会から工業を中心とした社会に転換し、それにとともに多くの労働人口が農業から工業やサービス業に移行した。工業は、組織的に財を生産する産業である。また、サービス業は同様に流通・販売する産業である。短い間に組織社会になった。多くの人々が組織に属し働くことになった。現代、これから社会で働く人たちのほとんどが高学歴の若者です。知識を通して生活の糧を稼ぎ、成果をあげて社会に貢献する機会が豊富に存在するのは組織だけです。

本講義では、マネジメントによってなされるべきことを中心に置く。マネジメントとは組織の機関です。組織がなければマネジメントはありません。その組織は社会のための機関でもあります。組織は、社会、経済、個人が必要とするものを提供することを目的とします。機関とは何を行うかによって定義されるものではありません。何を貢献するかによって定義されます。また、マネジメントとは、一つの体系です。一つの知識体系です。しかし、まだわかっていないこともあります。新しい領域と新しい課題も現れています。本講義では、それらの領域を明らかにします。同時に、それらの領域へのアプローチの仕方も明らかにし、新しい課題と挑戦に応えるための政策、原則、方法を明らかにします。組織は、人からなる。あらゆるマネジメント上の成果は人としてのマネジメントによるものです。人としてのマネジメントのビジョン、献身、真摯さが、マネジメントの成果を決めます。マネジメントとは実践です。その本質は知ることでなく、行うことにあります。その評価は、理論ではなく成果によって定まります。主役は成果です。したがって、本講義は基本を扱っているものの哲学の講義ではありません。実践から生まれた実践の講義です。

本講義が、君たちが社会に出て組織に属し、あるとき、その組織の方向性や組織運営に疑問を持った場合、仕事の成果や将来のキャリアに不安を抱いた場合、そして自分の人生に悩んだ場合、現状を整理し、問題解決の糸口を見つけ、未来に向かって仕事や人生を考えるための道標となることと確信しています。なお、本講義は、アメリカの社会生態学者P・Fドラッカーの著作「現代の経営」、「経営者の条件」、「プロフェッショナルの原点」、本学前学長石井淳蔵氏の著作「寄り添う力」をベースとして行います。

到達目標

マネジメントの目的、役割、課題、責任、実践、正統性について理解し、述べることができる。また、実社会で活用するための方法論を身につけることができます。

提出課題

授業毎に、小テスト、小演習問題に答えてもらいます。なお、提出方法は、スマートフォンのメール機能を使用します。解答の際のメール文書は、ペタ打ちにて、メールの先頭に、①科目名、②提出日、③学籍番号、④氏名、⑤講義回、⑥解答：問1、問2、～として順に記述し、解答内容が私に明確に伝わるよう文言・文章を作成してください。解答記述が終わりましたら、私のメールアドレスまで、講義日当日午後5時までに必着するよう送付してください。当日午後5時までに解答メールが着いていない場合は欠席とみなします。

送付先メールアドレス：Masao_Usui@red.umds.ac.jp
念のため小テスト及び小演習の解答記述例を以下に示します。

小テスト及び小演習の解答例：
①経営管理論1、②2020年〇月〇日、③〇〇△△〇〇、④流通 太郎、⑤第1回小テスト、⑥解答：問1、〇〇～云々～〇〇、問2、(1) - ①□□□□、(2) △△△△、問3、～

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

講義の最初に前回分の小テストの解答、小演習の全般的な文書での講評、また、異なった考えや意見があった場合には、コメントを加えます。

評価の基準

授業毎の小テスト、小演習の結果、期末試験の結果を総合し評価します。

履修にあたっての注意・助言他

講義専用のノートを一冊作成すること。
講義前に講義資料を配布しますので、講義の際には事前に熟読をしてください。

教科書				
・エッセンシャル版マネジメント	PFドラッカー	ダイヤモンド社	2,000円	4-478-41023-2
・プロフェッショナルの原点	PFドラッカー	ダイヤモンド社	1,600円	978-4-478-00334-3
・寄り添う力	石井淳蔵	碩学舎	1,800円	978-4-502-08740-0

プリント資料及び参考文献

教科書以外の参考文献として、以下の著書を紹介いたします。
「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」 岩崎夏海著 ダイアモンド社
「プロフェッショナルの条件」P・Fドラッカー著ダイヤモンド刊

授業計画

- 回 テーマとキーワード
1. 組織の目的、その役割と働く人たちの自己実現・・・「企業とは、何か」「顧客とは、何か」
 2. // 「組織の社会的責任」
 3. // 「自らのマネジメント」「自己実現」
 4. 成果をあげるための具体的な方法・・・「成果をあげるための能力」
 5. // 「強みを生かすこと」
 6. // 「最も重要なことに集中する」
 7. チームとして成果をあげるための要点と具体的な方法・・・「成長するために何が必要か」
 8. // 「目標管理」
 9. // 「チームで働くこと、メンバーの育成」
 10. 顧客の創造、マーケティング、イノベーション・・・「マネジメントの役割」
 11. // 「寄り添う力」
 12. // 「意思決定の秘訣」
 13. 品質経営論・・・「品質経営の全体像」
 14. // 「組織的成功と品質マネジメントシステム」
 15. 講義全体のまとめ・・・「授業全体のまとめ」
- ※ 講義回が前後する場合、変更する場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義毎に、次回分の講義用資料を配布しますので、予習として約2時間程度熟読し、要点をノートにまとめておくこと。また、小テスト、あるいは小演習終了後、再度講義資料の小テストの問題箇所を中心に約2時間程度復習を行い、内容を再確認して下さい。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回小テスト、あるいは小演習を実施します。次回の講義の最初に、文書にてその全般的な講評、コメントを行います。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」：私は、大学卒業後、複数の組織を移り、マネジメント業務を、特に事業全体のオペレーションや新規事業の開発に取り組んできました。その仕事の柱に、いつもP・Fドラッカー「マネジメント」おいてきました。マネジメントとは、ステークホルダーの皆さまに對しての意思決定そのものです。私の経験とともに講義を通じ、マネジメント及びその中心となるものを詳しく簡潔に実務経験を基に講義資料から伝えます。

備考

講義後に興味をひいた言葉を書籍やインターネットで調べ、講義内容を思い返すようにして下さい。なお、毎回のグループ演習や小テストを通じて、講義の理解度の確認と気づき、不明な点を明確にし、次回の講義の際に説明を加えていきます。